



社会福祉法人金亀会
障がい者支援施設

スマイル

〒790-0047 愛媛県松山市余戸南6丁目5番3号

TEL (089) 965-0294 FAX (089) 965-0330

メールアドレス smilekun@blue.ocn.ne.jp

ホームページ <http://smile-power.jp>



笑顔の



1月号

おすそわけ

CHRISTMAS PARTY

12/19

アームレスリング大会

初めてのアームレスリング大会、盛り上がりました!!

バンドバル演奏
♪ジングルベル

みんなで練習してきたジングルベル♪上手でしたね!!

入所ご家族様にもたくさんご参加いただきました♡

ビンゴ大会

エミフル MASAKI の皆さまからの福祉基金でビンゴ大会の景品を提供していただきました！
ありがとうございました♡♡♡

クリスマス特別メニューはサンドイッチとチキンライスの選択、鶏の照り焼き、フライドポテトなど、美味しいと好評でした😊

河原 医 療 福 祉 専 門 学 校
介護福祉科 2 年 実 習 【 9 月 8 日 ~ 1 0 月 1 0 日 】

今回は、初めての障害者施設での実習であった。初めは不安なことが多くあり、利用者の方ともコミュニケーションを上手にとれるかの心配があった。なので、まず信頼関係を築いていくために、朝出勤時に指導者の方、利用者の方への明るい挨拶を意識して行った。そうすることで、少しずつではあったが信頼関係を築くことができ、コミュニケーションでは、話が途切れることなく様々な利用者の方積極的に会話することができた。

利用者は、自分で話すことができる人、話の意味は分かるが言葉にして話せない人などの利用者がいたが、関わっていくことで、その利用者にあった、話し方があるのだと学ぶことができた。言葉だけではなく、身振り手振りの活用にも意識して行った。そうすることにより、利用者も相槌での返事が返ってくるが増えた。

介護技術面では、オムツ交換、食事介助、口腔ケア、排泄介助、入浴介助、着脱介助など、多く実践させていただいた。自分は、オムツ交換が苦手であったが、今回の実習で、オムツ交換に積極的に挑戦して、回数を重ねる毎に、少しずつではあったが技術向上することができたと感じた。

今回の実習で学んだ知識、技術を、卒業後の就職先で活かしていきたいと思う。

松尾 潤



5 週間の実習を通して、とても多くの学びや気づきを得ることができました。

最初は、緊張や不安もありましたが、利用者の皆様と関わらせていただく中で、利用者様の笑顔に元気をいただきました。利用者様に声をかけると笑顔を見せてくださる方が多く、私も自然と笑顔で接することができるようになり、感謝の言葉をいただいた際には、やりがいを実感することができました。

コミュニケーションでは、言葉だけでなく、表情や仕草など、様々な手段を活用し、信頼関係を築いていくことが重要だと学びました。職員の方々の対応を間近で見て、利用者様一人ひとりの個性やニーズに寄り添った支援の姿勢に感銘を受け、私もそのような職員になりたいと強く思いました。

今回の実習を通して、学んだことや気づいたことを今後の成長に繋げ、利用者様に心から寄り添っていける職員を目指していきたいと思います。

その為には、知識や技術を更に身につけ、より質の高い支援を実施できるよう努めていきます。

出本 愛花梨



私は障がい者支援施設で 5 週間の実習を行いました。この実習では、言葉だけでなく、表情やしぐさなど、さまざまな方法でコミュニケーションを取る大切さを学びました。

最初は、利用者さんとのように関わればよいのか分からず戸惑いましたが、職員の方々の対応を見て、相手の表情や反応をよく観察することが大切だと気づきました。

また、今回の実習では、利用者さんと一緒にサークル活動にも参加しました。活動を通して、利用者さんたちが楽しそうに過ごしている様子を見て、私自身も楽しい気持ちになりました。サークルでは、利用者さんが楽しく過ごせる雰囲気を作るためには、支援する私たち自身も楽しむことが大切だと感じました。自分が笑顔でいなければ、利用者さんにも楽しさを伝えることはできないということを知りました。

そして、食事介助の実習を通して、利用者さん一人ひとりの障がいの状態に合わせた支援が必要であることを学びました。介助を行う前に相手の体の状態を理解し、安全で安心できるように支援することの重要性を感じました。

この実習を通して、利用者さんに寄り添う介護の姿勢を学ぶことができ、とても貴重な経験になりました。

オリ オバ

河原 医 療 福 祉 専 門 学 校
介護福祉科 1 年 実 習 【 1 1 月 4 日 ~ 1 1 月 2 2 日 】

今回の介護実習を通して、私は介護現場での支援には技術だけでなく、利用者一人ひとりに寄り添う姿勢と深い観察力が必要であることを強く感じた。特に日本語での声かけがうまく伝わらなかった経験から、言葉は利用者に安心感を与える大切な支援の一部であると学んだ。介護職員が丁寧に声をかけ続けることで、利用者の方が落ち着きを取り戻し、食事が進む様子を見て、自分もそのような関わりができるようになりたいと思った。

また、オムツ交換やリフト介助では、操作手順を理解できていなかった場面があり、安全の重要性を改めて実感した。ミスをしてしまった経験は反省点であるが、その一つひとつが今後の成長につながると感じている。安全に介助を行うためには、焦らず落ち着いて行動し、利用者の状態をしっかり確認することが欠かせないと感じた。

さらに、アセスメントについては、ただ情報を集めるだけでなく、利用者の気持ちや行動の裏側にある思いまで考えることが大切だと学んだ。言葉だけでなく、表情の変化や仕草にも注目し、利用者を多面的に理解することが求められる。コミュニケーション能力は介護の基盤であり、日本語力や観察力は今後もっと身につけていきたい。

今回の実習は多くの課題に気づかされたが、学びの多い貴重な経験となった。今回得た気づきを忘れず、次の実習ではより自信を持って利用者に向き合えるよう努力していきたい。

謝 玉 芬



今回の実習では、初めて障害者支援施設において学ばせていただきました。最初はわからないことが多く、とても緊張していましたが、職員の方々が丁寧に教えてくださったおかげで、少しずつ落ち着いて行動できるようになりました。利用者様も優しく接してくださり、声をかけていただく中で、不安が和らいでいきました。

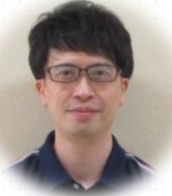
食事介助では、姿勢の調整や一口ごとの嚥下確認など、安全に食べていただくための小さな工夫がとても大切だと学びました。トロミの使い方や食形態の違いなど、学校ではわからなかったことも実際に見ることで理解が深まりました。

入浴や移乗の介助では、リフトの使い方や声かけのタイミングなど、利用者様の安心につながるポイントを教えていただきました。自分が見落としてしまいうような細かい安全確認も、職員さんが一つ一つ理由を説明してくださり、とても勉強になりました。

また、コミュニケーションについても多くの気づきがありました。言葉だけではなく、表情やしぐさ、視線などから気持ちを読み取る大切さを実感しました。相手に合わせた関わり方が必要だと強く感じました。

今回の実習を通して、介護は難しい部分もありますが、それ以上に「相手の生活を支えるための工夫」や「安心してもらうための関わり」がとても大切だとわかりました。実習で学んだことを、これからの勉強や次の実習に生かしていきたいと思っています。

葉 承 暉



今回初めての実習先が障害者支援施設だと聞いて、授業でまだ何も障害者支援について習っていないのに大丈夫だろうか、最初は不安でいっぱいでした。

特に、言葉でのコミュニケーションが難しい方とどう関わればいいのか戸惑いましたが、笑顔で目線を合わせて会話をすることを心掛けていくと徐々に表情や仕草で返してくださることが増え、笑顔を返していただくことが何より嬉しく、実習が終わるころにはもっと利用者様と関わりたいという気持ちの方が強くなっていました。

実際に介助を体験すると、一人ひとりの癖や特徴に合わせて丁寧に介助する事の難しさを実感しました。職員の方はいつも細かく声掛けをしながら利用者様の变化を観察しており、常に利用者様の安全への視点があることに感じました。また、利用者様と深く関わり、状態を的確に把握し、利用者様の思いを正しく知ろうとすることがアセスメントの重要な部分であると知り、多職種が密接に連携している様子も間近で観察することもでき、学びの多い実習になりました。

介護職員は利用者様の一番近くにいる利用者様の生活と安全を守り、笑顔を増やすために働くことができるやりがいのある仕事だと感じました。利用者様の協力と職員の方の優しい指導のおかげで楽しい3週間を過ごすことができ、感謝しています。ありがとうございました。

石 田 真 奈 巳



2026年カレンダーに 採用していただきました

公募展で入賞した作品が2026年のカレンダーになりました。石村ゆかりさんは【紙ンバックプロジェクト】三浦工業のカレンダーに。土山啓一さんは【えひめFC】チャレンジドえひめのカレンダーに、作品を採用していただきました。



石村ゆかりさん



土山啓一さん

お琴の演奏会

白方岳様、石田雅楽之夢様に
お越し頂き、お琴の演奏会を開催しました。
「花かげ」や「島原の子守唄」を
はじめ、白方先生が作曲された曲を
ご披露頂きました。
お琴の優雅な旋律に心打たれ
るひとときとなりました。



すてきな演奏
ありがとうございました！

祝・はたちの集い



岡本 大和さん



清水 琉貴さん



和田 海咲さん



金林 青空さん

はたちを迎えた
皆さん、
おめでとう
ございます！！



大鍋 和博さん



齋藤 克政さん



梅木 時旺さん



仲西 由美さん



上松 悦彦さん



清水 広美さん



重岡 克哉さん



大崎 彩華さん

社会福祉法人 金龜会 理事長 大野 恭子

謹賀新年

いつもスマイルにあたたかいお心をお寄せいただき感謝申し上げます。皆さまのご支援を戴き、お陰様で無事に新年を迎えることができました。

昨年の取り組みとしまして、引き続きご利用者様お一人お一人の特性に留意しながら、お身体を守り、いかにスマイルの時間をその方らしく楽しんでいただくかを目標に努力してまいりました。

小さな畑での収穫、工作や絵を描くこと、みんなでゲームをしたり歌ったり、外出をしたり・・・と、穏やかな日常をみなさまと共に喜ぶ時間が私たちの希望になっています。

そして、さまざまな研修も重ね、地域の方々にも助けていただき、また、他施設との交流も重ね、多くの学びを得た日々でした。

まだまだ至らないところがあると存じますのでどうかご意見を賜りますよう宜しくお願い致します。

社会に目を向けますと、地震大国である我が国の災害への不安、平和憲法を変えようという動きへの不安があります。災害に強く、平和な世の中でなければ、一人では生活できない人にとって過酷な日々となることは、東北大地震、福島原発事故一昨年の能登半島地震、戦禍にある国々を見て明らかです。

能登半島地震では、八割の福祉避難所が機能しなかったとのことです。南海トラフ大地震の発生確率が今後三十年以内に七〇パーセント〜八〇パーセントと警告されています。戦禍にある障がいのある方々は逃げ惑う日々をどう過ごしておられるのだろうかとお腹が痛む思いです。

ご利用者のみなさまの命を守ることににより力を入れる一年にしたいと思っております。今年が、生命をお互いに喜び合える一年でありますように、スマイル職員一同、力を尽くしたいと思います。どうか変わらぬお導き、お力添えを賜りますよう、宜しくお願い致します。

皆さまにおかれましても幸多い一年でありますように

お祈り申し上げます。

1 月 行 事 予 定

12/31(水) ~ 1/4(日) 年末年始休業

1(木) 入所：新春カラオケ大会 6(火) ~ 14(水) 通所：外出「初詣(椿神社)」
6(火) ~ 28(水) 入所：外出「初詣(椿神社)」 8(木) 合同サークル(福笑い)
15(木) 行事食「おでんバイキング」 27(火) 祝い膳 28(水) 通所：防災訓練

散髪・ヘアカット(理容師・美容師の来所)は中止します。

スタッフ 募集中

お気軽に
お問い合わせください。
TEL (089) 965-0294
担当：藤原 岳

支援スタッフ(施設内介護)
運転手(利用者送迎)
登録ヘルパー(訪問介護)



～ご意見・ご要望受付に関するお知らせ～

利用者及びご家族の皆様からの施設に対する
ご意見・ご要望を受け付けております。
今月より、お電話にて受付いたします。

担当者は (サビス管理責任者) 福宮 沙也子
(本部長) 藤原 岳 です。
担当者まで、どうぞお気軽にご連絡ください。